

## ガリバー自動車研究所レポート

# 2009年 クルマは売れるのか？

## ～ 消費者調査から読み取る09年自動車市場 ～

米ビッグ3に対する米政府の金融支援など、09年は自動車業界にとって大きなターニングポイントとなる。また、米経済の動向は日本にも影響を及ぼし、アメリカと同様に日本の自動車市場にも注目が集まっている。消費者のアンケート回答から09年の自動車市場を予想する。

## ■調査概要

- 調査期間 2008年11月21日 ～ 2008年11月22日  
調査対象 全国、運転免許証を保有する18歳～69歳の男女  
調査実数 1,000サンプル  
調査方法 インターネットによるWebアンケート  
調査企画 ガリバー自動車研究所  
調査協力 株式会社ヤフー・バリュー・インサイト

## ■主な設問

- ▶あなたは来年(2009年)に自動車を購入する予定はありますか？
- ▶経済不況といわれていますが、あなたが感じていることをお答えください。
- ▶あなたの中古品に関する考え方を教えてください。
- ▶今後、あなたが車を購入するとしたら、購入予算はいくらぐらいを考えますか？
- ▶現在、購入したいけど我慢している商品はありますか？
- ▶あなたはレギュラーガソリン1リットル価格がいくらまでならマイカーを所有しますか？
- ▶現在あなたが自分名義で保有している車は、新車？中古車？
- ▶あなたはガソリン高の対策として今年に入ってから実行したことはありますか？
- ▶あなたが今後数年間の間にマイカーを購入するとしたらどんな車が良いですか？
- ▶あなたはどの位の価格であれば電気自動車の購入を検討しますか？
- ▶これからもっとも主流になる次世代自動車はどんなクルマだと思いますか？

## ■レポートに関するお問い合わせ

株式会社ガリバーインターナショナル コーポレート企画部 広報セクション  
〒100-6425 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビルディング25F  
TEL 03-5208-5501 FAX 03-5208-5511

## ■レポート総合企画／制作 ガリバー自動車研究所 所長 鈴木詳一

## 2009年は免許保有者の16%が自動車購入予定？

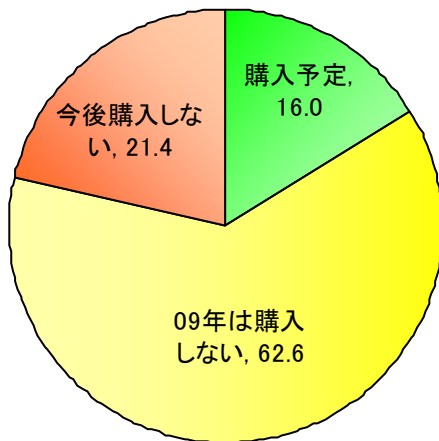
～ 消費意欲と現実のギャップ ～

自動車運転免許保有者(普通免許以上)に09年の自動車購入予定を聞いてみたところ、16%の消費者が購入する予定があると回答した。もし実際に16%の消費者が購入すると08年の自動車販売台数を大幅に超えることになる。ただし、この回答は実際には購入希望者の数値ともいえ、経済不況が報じられる中で消費者が不況を感じなくなれば購入に結びつくものといえるだろう。

■16%が購入予定も、所得の伸びと将来不安が鍵。

### Q 2009年に自動車を購入する予定はありますか？

(1,000人/単一回答)



2桁減の販売減少に悩む新車市場は09年も厳しい状況が続くと予想されている。08年11月に実施したアンケート結果を元に09年の販売数を予想してみると

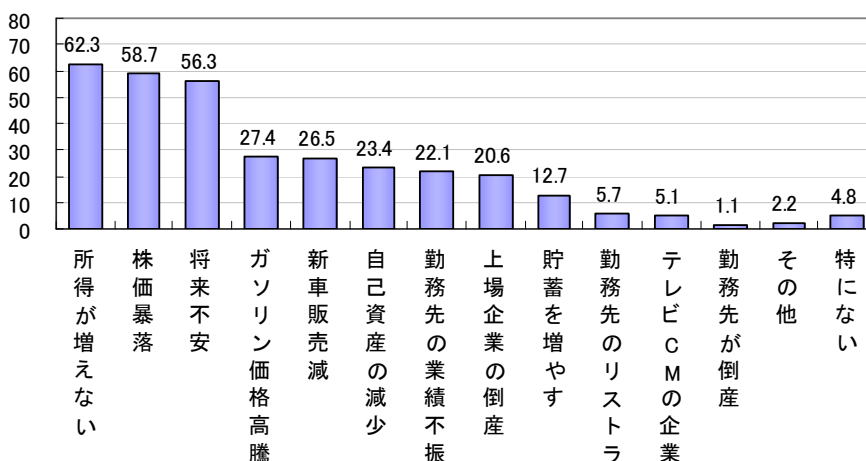
自動車免許保有(普通免許以上)	7,730万人
× 09年購入予定率	16.0%
= 09年自動車購入予定者	1,237万人

08年の新車販売台数は508万台。08年の中古車登録台数は700万台強だが、これは自動車業者の登録台数も含まれるため、半数の350万台程度が実際の市場規模と見られる。08年の新車、中古車の合計はおよそ858万台となるが、今回の予想人数はその数字を大幅に超えている。もちろん、購入検討時の経済状況によって購入を最終的に判断するため、上記の数値はあくまでも現在の購入希望者となる。

購入希望者がこれだけ多いということは、政府の消費対策次第で自動車販売台数は大きく変わる可能性があるといえるだろう。

### Q 経済不況であなたが感じることは？

(1,000人/複数回答)



金融危機による経済不況で消費者が最も感じていることはやはり自分が直接直面している給与の伸び悩みだった。

また、年金問題など将来不安も多くの消費者が感じているところで、政府の明確な指針が必要であることも伺える。

上記、09年自動車購入予定もこういった背景が改善されなければ消費が抑制され、景気回復への道のりは厳しい状況といえる。所得に関しても、収益を下げる企業が多い中、09年に昇給する望みは薄い。

消費意欲と現実にはギャップがあり、政府・企業それぞれが努力する必要があるということだろう。

## クルマの購入価格は200万円前後が望ましい

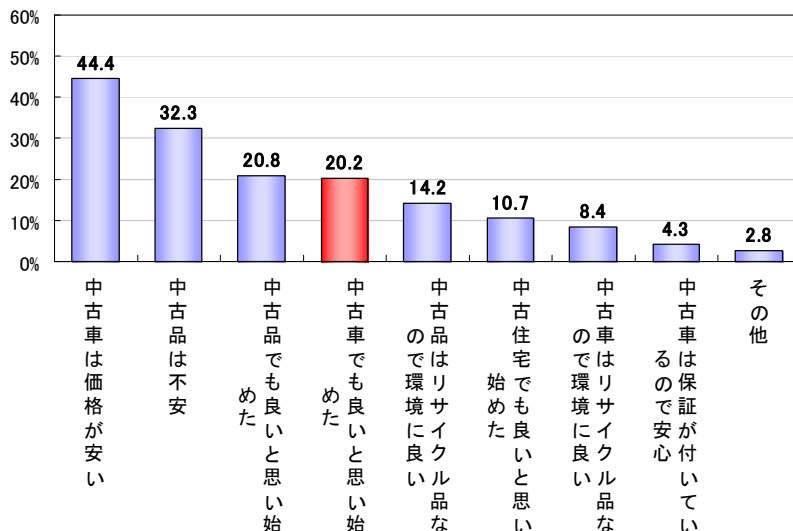
～ 軽・コンパクトカーに加えて中古車にも注目 ～

不況に強い商品といわれる中古品だが、実際に「中古品でも良いと思い始めた」という消費者が2割に上ることがわかった。所得の伸び悩みや将来不安などの不況に対応するには、消費支出を効率的にする必要がある。そういった中で中古品というのは消費者の選択として賢い方法といえる。また、自動車の購入予算も低価格帯が多いことも中古車を検討する消費者の増加に繋がるのではないだろうか。

■クルマの購入予算100万円未満はほぼ中古車、300万円未満で約9割を占める

### Q 中古品に対する考えをお答えください

(1,000人／複数回答)



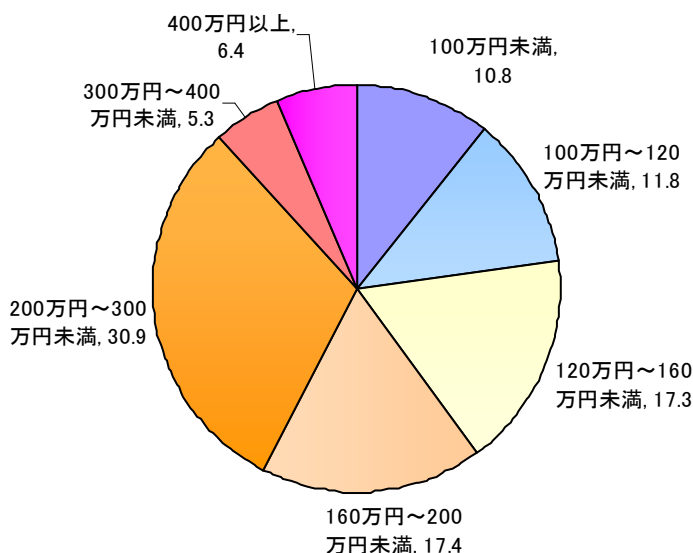
中古品に対する考えは「価格が安い」という回答が最も多いが、新しいもの好きといわれる日本人でも、2割の消費者が中古品でも良いと思い始めている。

これは、不景気による消費のコストダウンとして中古品の検討を始める消費者が増えたことや、流通網が発達し良質な中古品が購入しやすくなったことも影響しているといえる。

「良質なものであれば、コストが抑えられる中古品」というのは理にかなった行動なのではないだろうか。

### Q あなたが今後クルマを購入するなら予算はどれ位ですか？

(786人／単一回答)



今後クルマを購入する予算は、200万円未満が半数以上を占めることがわかった。

100万円未満は10.8%で、対象となるのはほぼ中古車となる。100万円～120万円未満は11.8%で、軽自動車や中古車が含まれる。120万円～160万円未満は17.3%で、コンパクトカーや中古車でも多い価格帯だ。

最も多いのは200万円～300万円未満で、ミドルサイズのミニバンが多く含まれる価格帯となる。

新車・中古車で分類すると構成比は変化するが、今後も軽自動車やコンパクトカー・ミニバンに加え、中古車がどの程度の割合となるかに注目したい。